

科目系統図

公開日「2021年4月1日」

理工学研究科 機械工学専攻

人材養成等に関する目的

機械工学専攻は、機械工学の先端領域を目指す研究を行い、社会からの要請に応えるとともに、研究を通じて、幅広くかつ高度な専門知識をもち、新しい情報をいち早く取り入れて総合的に技術革新を先導できる人材を育成する。
(理工学研究科細則第3条(9))

カリキュラム・ポリシー

1. 修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、機械工学専攻が定める目的を実現するための教育課程を編成する。
(1)「専門科目」では、より高度な専門的知識を身に付けるため、特論、実験、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。
(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、倫理観・国際性・コミュニケーション能力等を養う授業科目を配置する。
(3)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者又は高度職業人として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。

2. 博士後期課程においては、修士課程等で養った高度な専門的知識や研究開発能力を基礎として、さらに「研究指導」「一般教養科目」により機械工学専攻が定める目的を実現するための教育課程を編成する。
(1)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、専門分野に関して自立した研究者又は高度職業人として、国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。
(2)「一般教養科目」では、自立した研究者又は高度職業人として研究開発を遂行していくために必要な深い学識と汎用的能力を涵養する授業科目を配置する。

